

日本比較薬理・毒性分科会拡大評議委員会議事録

日時：平成 24 年 3 月 28 日（水）第 153 回日本獣医学会学術集会

場所：大宮ソニックシティー 第 4 会場

議長：山田章雄会長（国立感染症研究所）

出席者（敬称略）：北海道大学（伊藤茂男、石塚真由美）、酪農学園大学（寺岡宏樹）、北里大学（原幸男）、岩手大学（古濱和久）、東京農工大学（佐々木一昭）、東京大学（尾崎博、堀正敏）、日本獣医生命科学大学（金田剛治、田島剛）、麻布大学（浅井史敏、白井明志、代田真理子）、大阪府立大学（中川博史、西村和彦）、鳥取大学（高橋賢次）、山口大学（佐藤晃一）、宮崎大学（池田正浩、園田紘子）、鹿児島大学（宮本篤）

I 報告事項

1. 全国獣医関係大学代表者協議会について

・コアカリ

大幅な見直しは 5 年後（3 年後から改訂作業開始）

国家試験基準との整合性の問題が挙げられた

・共通テキストについて

H28 度正式スタート（予定）

科学研究費 A を申請中でこの予算で準備を行う

CBT 問題作成を Web 投稿方式で開始・・・東大でトライアル後 5 月中旬から全国で実施（10 題/1 人をノルマ）。

・共用テキスト

すでにいくつかの教科で共用テキスト完成。

獣医薬理学、獣医毒性学、獣医臨床薬理学：今後作成作業に入る

2. 国公立協議会について

第三者評価についての意見交換、共同教育課程の報告など

3. 私立協議会について

会長として政岡先生（麻布大学）が着任

大学評価についての報告

II 協議事項

1. 平成 22 年度会計報告について

平成 23 年度収支について報告があり、承認された。

2. 若手勉強会より

現在の若手勉強会の運営、形態などの刷新が堀（東大）より提案され、学会終了後、メール会議にて現在の若手勉強会幹事を中心に討議し、秋の獣医学会で新体制の承認を受けるとともに新体制でスタートすることが了承された。
